9709R871HA2201

MITSUBISHI

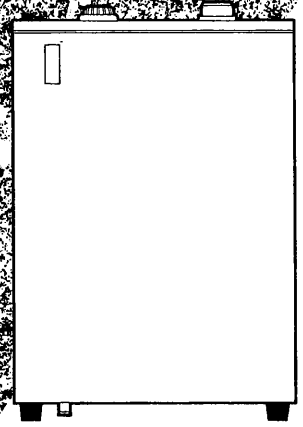
三菱油だき温水ボイラ

取扱説明書

形名

VKH- 80KT -K2
VKH- 80KT -M2
VKH-110KT -K2・VKH-110KT -K2-PN
VKH-110KT -M2・VKH-110KT -M2-PN
VKH-150KT -K2・VKH-150KT -K2-PN
VKH-150KT -M2・VKH-150KT -M2-PN

お客さま用



三菱油だき温水ボイラを廃棄処分される場合は、
本体内の灯油を抜きとってから行ってください。

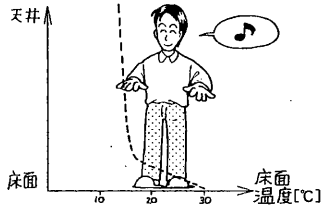
この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。
とくに「安全のために必ず守ること」をご使用前に必ず読んで安全にお使いください。

この説明書はお読みになった後、お使いになるかたがいつでも見られるところに同梱の保証書と共に保存のうえ、ご使用中にわからないことや不具合が生じたとき、お役立てください。
保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
この製品は給排気工事を必要としますので、**据付工事をお客さまご自身がしないでください。**
（安全や機能の確保ができません）

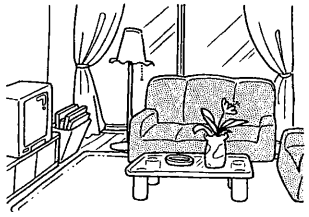
主な特長

ボイラと温水式床暖房システムでの暖房

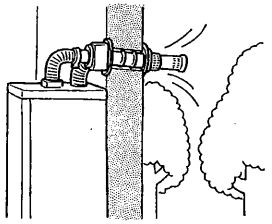
頭寒足熱
床暖房の部屋は頭寒足熱の室温になります。



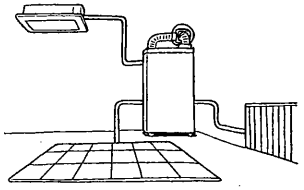
場所を取らない
床そのものが暖かく、場所を取りません。



FF式(強制給排気式)
屋内据付けのボイラはFF（強制給排気）式で、外の空気を使って燃焼し、排気ガスを外へ出すので、部屋の空気を使いません。



システムアップ
ひとつのボイラでパネルヒータやリビングヒータ、浴室用換気・暖房・乾燥システムと組み合わせたシステムアップが可能です。



もくじ

次のようなマークで必要な情報を示しています。

[お願い] 正しく使っていただくための情報です。

より便利にご使用いただくための情報です。

ミニ情報 細部の機能説明です。

参照ページを示します。

ページ

ご使用のまえに
- 安全のために必ずお守りください …… 4〜5
- 安全のためのお願い …… 6
- 「三菱温水暖房システム」について …… 7
- 各部のなまえとはたらき …… 8〜9
- 表示部・操作部のなまえとはたらき …… 10〜11
- 使用前の準備
  - 燃料 …… 12
  - 給油 …… 13
  - 運転開始前の準備 …… 14
  - 運転開始前の確認 …… 15

使いかた
- 運転・停止
  - 運転・停止のしかた …… 16〜17
- 湯温の調節のしかた …… 18〜19

- 日常の点検・手入れ
  - シーズンはじめ …… 20
  - 使用のたびに …… 20
  - 1か月に1回以上 …… 20
  - 1シーズンに2〜3回 …… 21
  - 防錆循環液について …… 21
- 定期点検 …… 22
- 地震などの災害が発生したときの点検 …… 22
- 故障・異常の見分けかたと処置方法 …… 23〜25
- 部品交換のしかた …… 26
- 保管（長期間使用しない場合） …… 26
- 据付け …… 27〜29
- アフターサービス …… 30〜31
- 仕様 …… 裏表紙

安全のために必ずお守りください

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、つぎの表示で区分して説明しています。

●表示と意味は、次のとおりになっています。

⚠警告	誤った取扱をしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
⚠注意	誤った取扱をしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

●図記号の意味は、次のとおりになっています。

	ガソリン厳禁		禁止		分解禁止		接触禁止
	指示に従い必ず行う		電源プラグを抜く		注意		

⚠警告

ガソリン厳禁

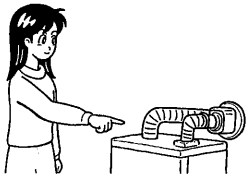
ガソリンなど揮発性の高い油は使わない。

ガソリン厳禁

（火災の原因になります。）

はずれ危険

給排気筒が正しく接続されているか点検してください。

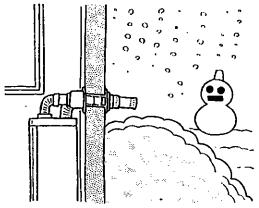


点検

（はずれていると運転中に排気ガスが室内にもれ、一酸化炭素中毒の原因になります。）

給排気筒トップ閉そく危険

積雪の多い地方では、給排気筒トップが雪でふさがれないことを確認してください。



確認

（排気ガスが室内にもれ、一酸化炭素中毒の原因になります。）

防錆循環液を幼児の手の届くところに置いたり、飲んだりしない

万一、飲んだ場合にはすぐに吐かせて、医師の診察を受けてください。

禁止

⚠注意

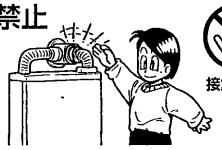
防錆循環液のかわりに水や自動車用不凍液を使用しない

三菱純正防錆循環液

（濃度50%調整品　VPZ-10GX, VPZ-18GX）
を必ず使用してください。
（水だけの使用は、ポンプロック・システム寿命の低下の原因になります。）

〔補給時も三菱純正防錆循環液をご使用ください。〕

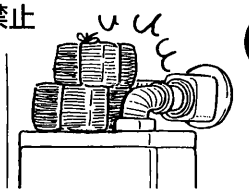
高温部接触禁止



接触禁止

排気パイプ・給排気筒トップ・排気トップは燃焼中・停止直後は高温になっています。
（やけどをします。）

可燃物禁止



禁止

（過熱により火災の原因になります。）

分解修理の禁止

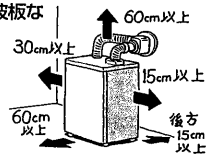
故障・破損したら、使用しないでください。
不完全な修理や改造は危険です。

分解禁止

（感電事故・火災・故障の原因になります。）

囲い禁止

機器や排気口を波板などで囲まない。



禁止

（不完全燃焼や火災の恐れがあります。）

電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加えたり、物を乗せたりしない。またコードを持って引き抜かない。

禁止

（火災や感電の原因になります。）

電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。
また傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しない。

確実実施

（火災の原因になります。）

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

プラグを抜く

（火災や予想しない事故の原因になります。）

電源プラグのお手入れを

時々電源プラグを抜き、ほこりなどを除去する。

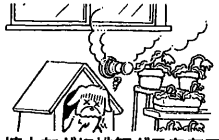
ほこり除去

（火災の原因になります。）

安全のために必ずお守りください

⚠注意

排気ガスに注意



禁止

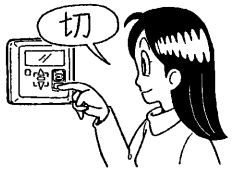
愛がん動物や植木などに排気ガスをあてない。
（動物が死んだり、植木が枯れる原因になります。）

異常時使用禁止

異常時あわてず消火

禁止

給油時運転停止

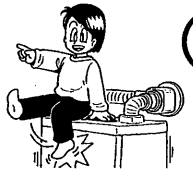


停止

（火災の原因になります。）

安全のためのお願い

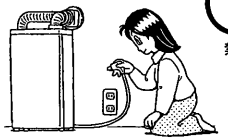
腰をかけたり、物をのせたり、強いショックをあたえない



禁止

（変形・故障・給排気部品のはずれる原因になります。）

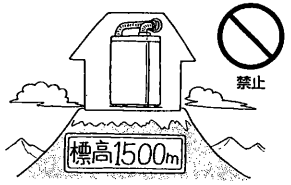
燃焼中は電源プラグを抜いたり、元電源（ブレーカー）を切らない



禁止

（余熱により故障する原因になります。）

標高1500m以上の高地では使用しない



禁止

（不完全燃焼の原因になります。）

結露水について（-K2 タイプ -K2-PNタイプ の場合）

防錆循環液がシスターンタンクよりオーバーフローしたり蒸発してオーバーフローチューブより排出されることがありますが異常ではありません。
排出された結露水で本体底部がぬれる場合は、受皿を用意してください。

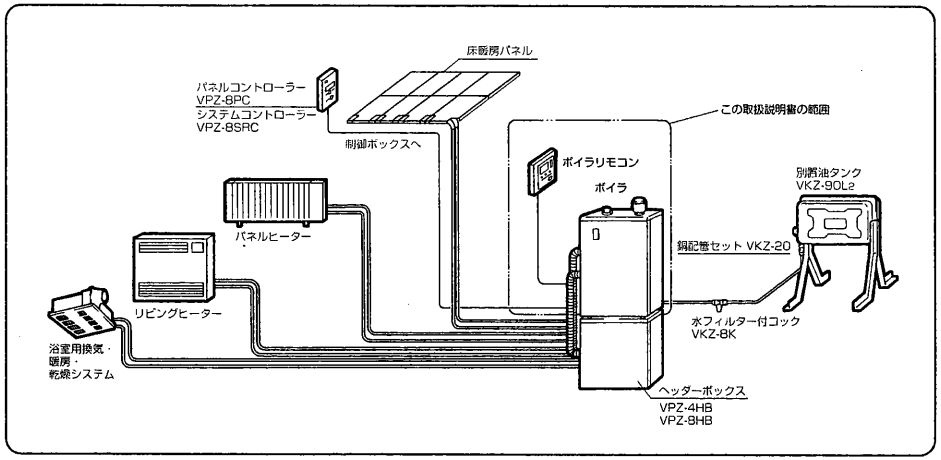
雷のとき

プラグを抜く

運転停止後電源プラグを抜いてください
（故障するおそれがあります。）

三菱温水暖房システムについて

三菱温水暖房システムは、次のようにボイラと放熱器（床暖房パネル、パネルヒータなど）を接続し、快適な暖房をするシステムです。
油だき温水ボイラは、放熱器に温水（防錆循環液）を送るために必要なものです。



この取扱説明書には、システムの中の油だき温水ボイラとリモコン部分について
- ●注意していただきたいこと
- ●操作の方法

} などを示しています。

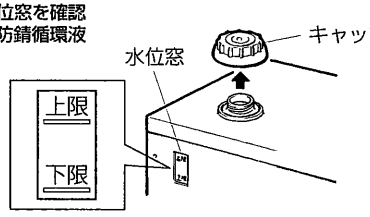
放熱器については、それぞれ注意していただきたいことがありますので、それぞれの取扱説明書をお読みください。

〈-K2タイプ，-K2-PNタイプの場合〉

防錆循環液の補給

シスターンタンク内の防錆循環液は少しづつ蒸発するので水位窓を確認し、コントローラ表示部に「給水」表示が出ている場合は、防錆循環液（VPZ-10GX, VPZ-18GX）を上限まで補給する。

21ページ

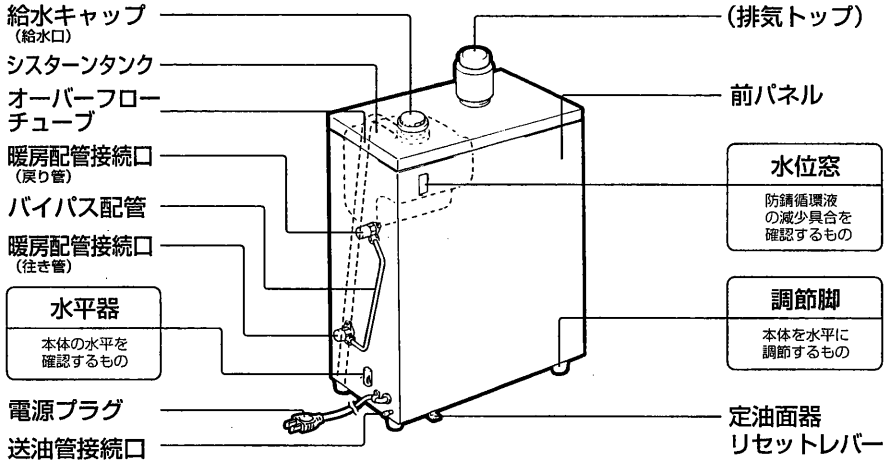


各部のなまえとはたらき〈( )のついている部品はシステム部材です〉

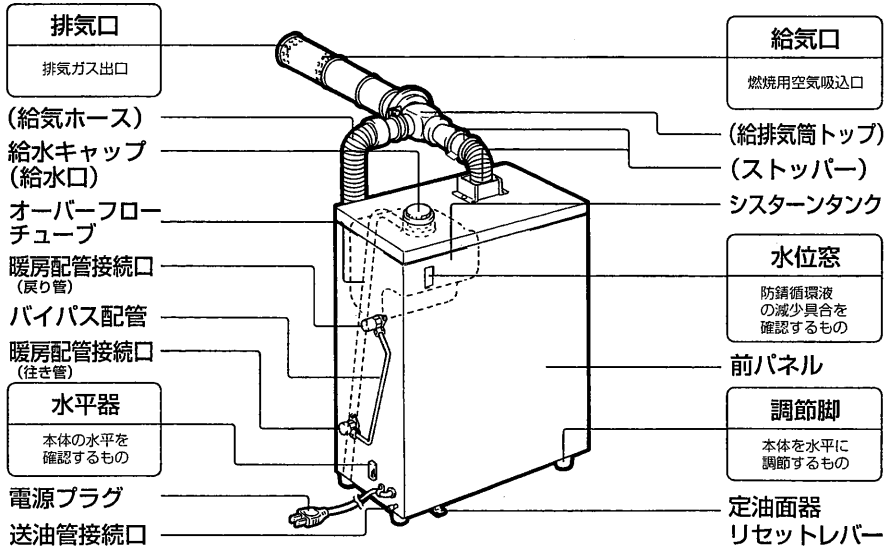
VKH-80KT -K2, VKH-110KT -K2, VKH-150KT -K2
VKH-110KT -K2-PN, VKH-150KT -K2-PN

※-K2-PNタイプのバイパス配管はボイラ本体外の温水配管途中にあります。

屋外用開放形の場合



屋内用強制給排気形の場合

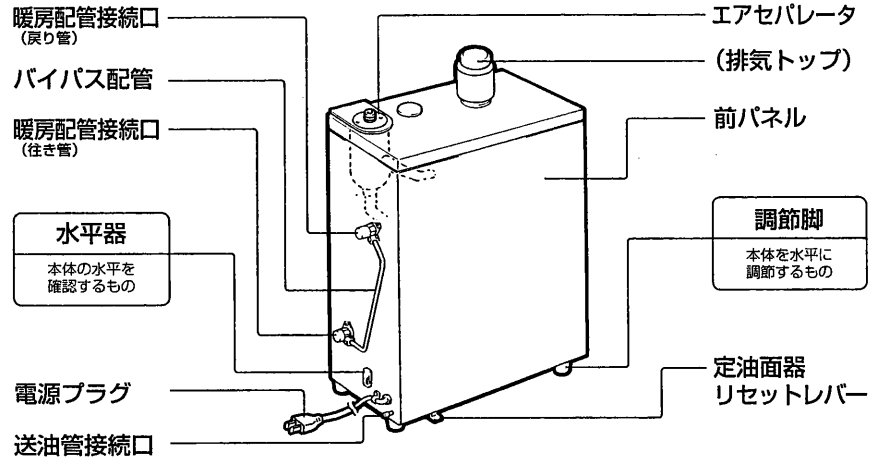


VKH-80KT -M2, VKH-110KT -M2, VKH-150KT -M2
VKH-110KT -M2-PN, VKH-150KT -M2-PN

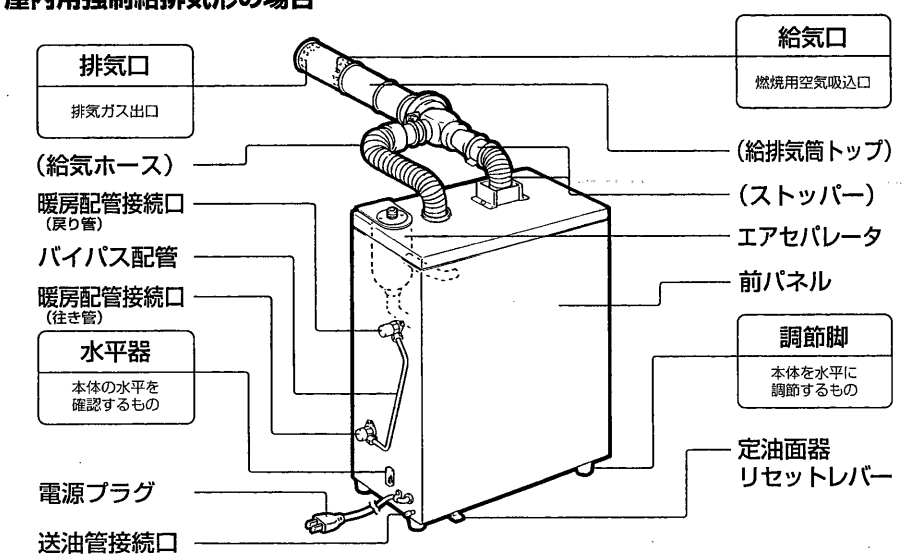
(-M2タイプはシステム全水量が大きい場合に適しています)

※-M2-PNタイプのバイパス配管はボイラ本体外の温水配管途中にあります。

屋外用開放形の場合



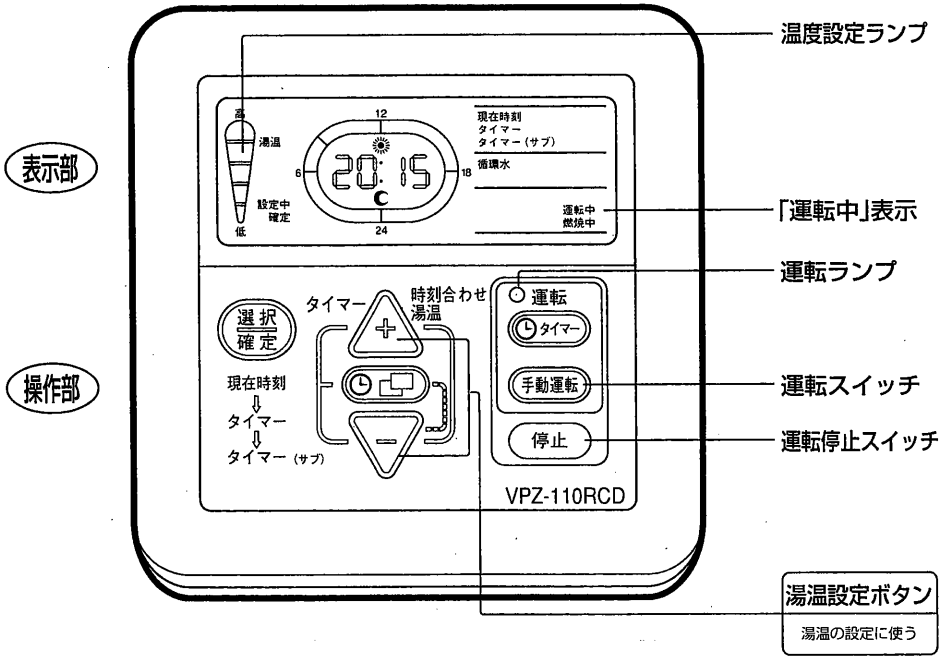
屋内用強制給排気形の場合



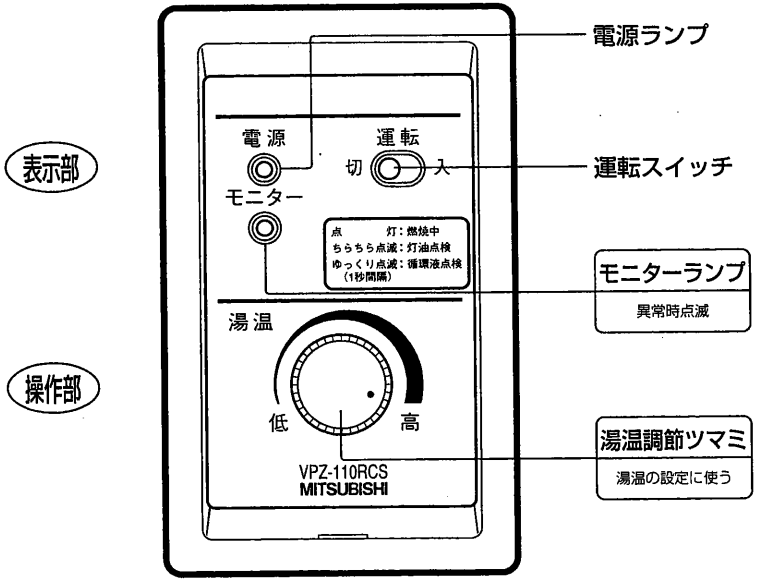
表示部・操作部のなまえとはたらき〈詳しくはリモコンに同梱の取扱説明書を読んでください〉

ボイラリモコンはシステム部材で、プログラムタイマーリモコンまたは温調リモコンのいずれかで操作します。

プログラムタイマーリモコン：VPZ-110RCD



温調リモコン：VPZ-110RCS



使用前の準備(燃料・給油)

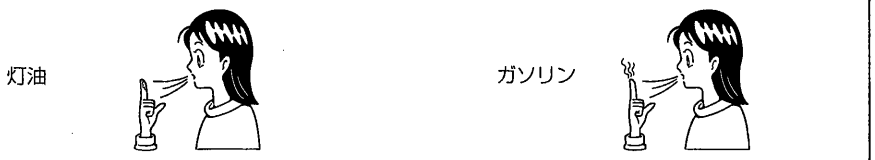
燃料

■必ずJIS1号灯油を使う

ガソリン、変質灯油、不純灯油などは、絶対に使用しないでください。

灯油とガソリンの見分けかた

指先につけて息をふきかけます。
(火の気のない所でしてください)

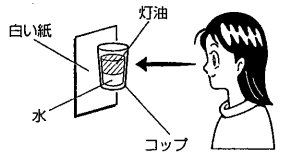


■変質灯油とは

- ●日光のあたる場所で長期間保管したもの。
- ●温度が高い場所で長期間保管したもの。

見分けかた

水よりも色がついていたら変質灯油です。
変質のひどいものは、黄色みを帯びたり、すっぱい臭いがします。



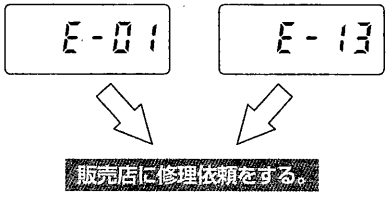
■不純灯油とは

- ●水やごみが混入したもの。
- ●灯油以外の油(天ぷら油、機械油、ガソリン等)が混入したもの。
- ●助燃剤等が混入したもの。

■誤って変質灯油、不純灯油を使用してしまった場合

プログラムタイマーリモコン使用の場合

デジタル表示部にエラー表示



■油タンクの据付けの確認

油タンクの据付け・接続は販売店・工事店が火災予防条例などに基づき実施しますが、据付工事完了後お客さまご自身でもご確認ください。 ……28ページ

給油

■給油の手順

空になる前に灯油を入れてください。

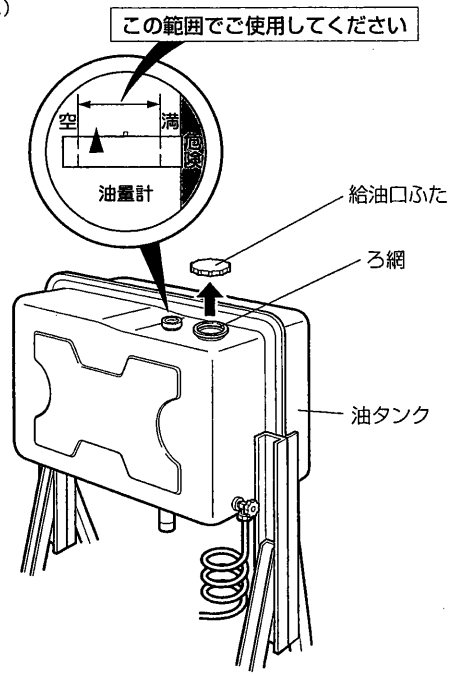
(空になると配管途中に空気がたまって、油が流れません。)

⚠警告	ガソリン厳禁

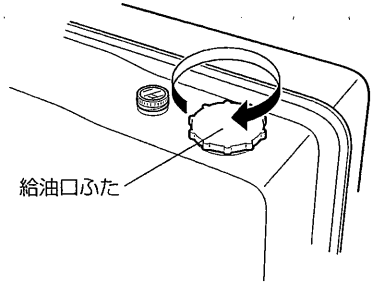
1 油タンクの給油口ふたをはずす。

2 給油口についている「ろ網」の上からこぼさないように灯油を入れる。

- ●給油の際に、水、ゴミなどを入れないよう特に注意してください。水、ゴミなどは燃焼不良などの原因になります。



3 給油口ふたを確実に閉める。



[お願い]	万一、こぼれた場合はよくふきとってください。

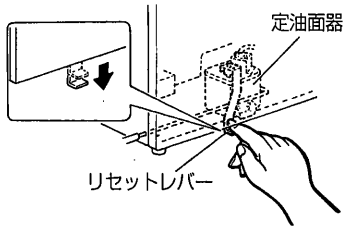
使用前の準備(運転開始前の準備・確認)

運転開始前の準備

■定油面器のセット

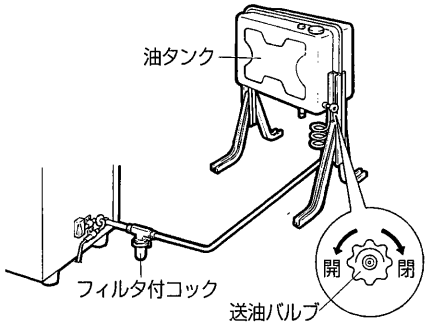
1 定油面器のリセットレバーを1回下げる。

2 リセットレバーが元の位置に戻っているか確認する。



[お願い]	シーズン初めや、本体に強い振動や衝撃が加わり運転停止した後エラーコード(E-01),(E-13)が点灯した場合に、再運転するときはリセットレバーをもう一度さげるか、電源プラグを抜き再度差し込んでください。

■油タンクの送油バルブ及びフィルタ付コックを開く



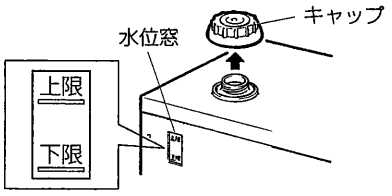
■防錆循環液の水位確認

(-K2 タイプ / -K2-PN タイプ の場合)

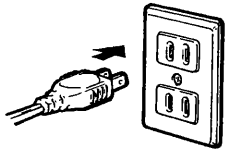
水位窓から防錆循環液が上限レベル位置まで入っているか確認します。

●防錆循環液が不足しますと、空だき防止装置が作動して運転を停止します。そのときは防錆循環液を補給してください。 ……21ページ

[お願い]	水位窓の上限レベル位置以上に入れないでください。 本体下部のオーバーフローチューブから防錆循環液があふれ出します。

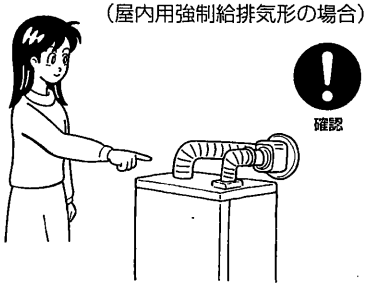


■電源プラグをコンセントに差し込む



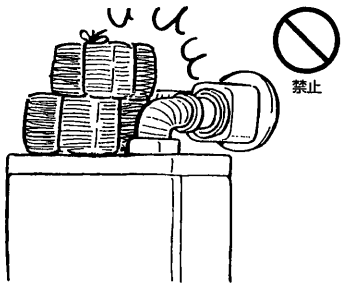
運転開始前の確認

■給気ホース、排気筒が正しく接続されているか確認してください。



⚠警告	はずれていると運転中に排気ガスが室内にもれ、一酸化炭素中毒の原因になります。

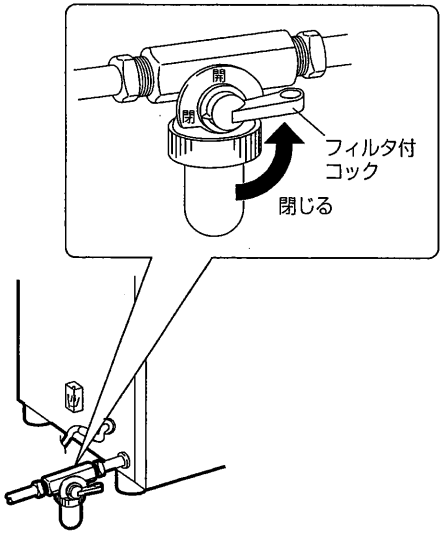
■ボイラの周辺および給排気筒トップ周辺に可燃物を置かない。



⚠注意	過熱により火災の原因になります。

■製品から油漏れがないか確認してください。

万一、油漏れしている場合はフィルタ付コックのバルブを閉じて、必ずお買上げの販売店に修理依頼、またはお近くの三菱電機お客さま相談窓口にご相談ください。



■温水配管からの防錆循環液漏れの確認

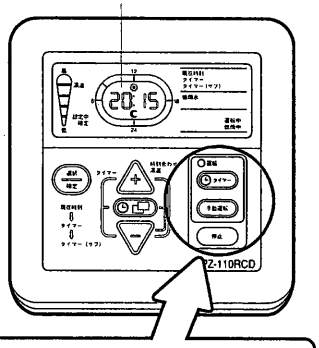
本体や温水配管接続部から防錆循環液が漏れてないか確認してください。 ……28ページ

運転・停止〈詳しくはリモコンに同梱の取扱説明書を読んでください〉

ボイラの運転・停止の操作はボイラリモコンで行います。

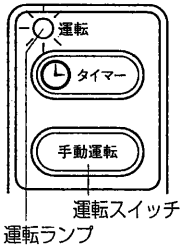
プログラム タイマーリモコン：VPZ-110RCDの場合

現在時刻が設定されていれば表示します。



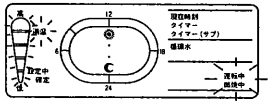
運転のしかた

「運転」スイッチを押す



●運転ランプが点灯します。
●約10分後点火します。

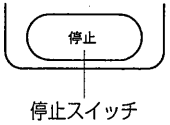
表示部



●「運転中」表示します。
●燃焼中は「燃焼中」表示します。
●工場出荷時は湯温「高」に設定されています。

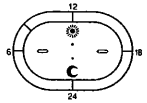
停止のしかた

「停止」スイッチを押す

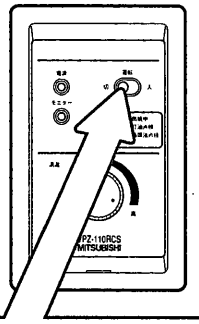


●運転ランプが消灯します。
●しばらくして温水循環ポンプの運転が停止します。

表示部

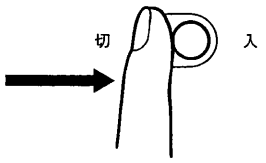


温調リモコン：VPZ-110RCSの場合



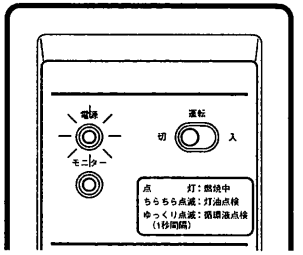
運転のしかた

運転スイッチを「入」にする



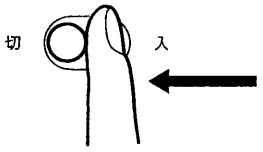
●電源ランプが点灯します。
●約10分後点火します。

表示部



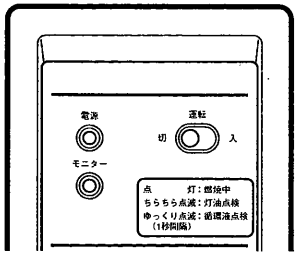
停止のしかた

運転スイッチを「切」にする



●電源ランプが消灯します。
●しばらくして温水循環ポンプの運転が停止します。

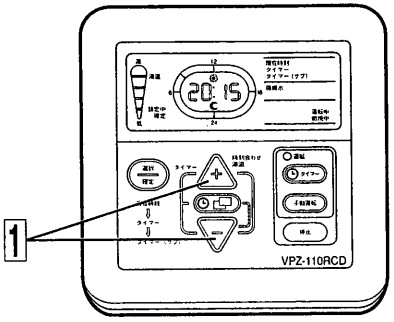
表示部



湯温の調節 (設定湯温を変えたいとき)

〈詳しくはリモコンに同梱の取扱説明書を読んでください〉

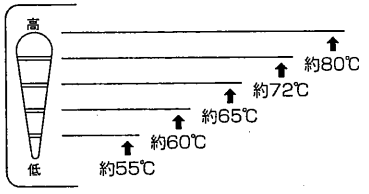
プログラムタイマーリモコン：VPZ-110RCDの場合



表示部

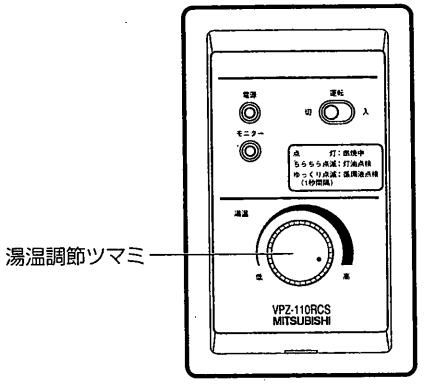
1 「△」または「▽」スイッチを押して湯温を設定する。
(5段階設定ができます。)

ミニ情報 湯温調節の目安



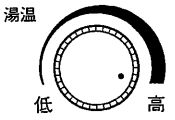
メモ **停電の時(5分以上の停電)**
停電または電源プラグを抜いた場合は、現在時刻が止まります。リモコンに同梱の取扱説明書により再度設定してください。

温調リモコン：VPZ-110RCSの場合



1 湯温調節ツマミを回して調節する。

ミニ情報 湯温調節の目安



■使用上の注意
4~6ページをお読みください。

■長期間使用しないとき
26ページをお読みください。

日常の点検・手入れ

点検・手入れのときの注意

●必ず運転スイッチを「切」にして運転を停止し、製品が冷えた状態で行ってください。
●お手入れの際はけが防止のために手袋の着用をおすすめします。

点検・手入れ

■シーズンはじめ

●給気ホース・排気筒
給気ホース・排気筒の接続箇所がはずれていないか確認します。

●給排気筒トップ(排気トップ)
屋外の給排気筒トップ先端がくもの巣やビニール袋などでふさがれていないか点検します。

●定油面器リセット
リセットレバーを下げます。 14ページ

●本体や温水配管接続部から防錆循環液が漏れていないか点検します。
また水位窓から水位を確認します。

●ゴム製送油管にひび割れ・破損・漏れがないか点検します。(屋内設置のみ)
交換の目安は3年です。

■使用のたびに

●排気ガス(屋内用強制給排気形の場合)
排気ガスのにおいや、目がチカチカしないか点検します。排気ガスが室内に漏れていると一酸化炭素中毒の恐れがあり非常に危険です。

●油漏れ、油のたまり、油のにじみ
本体送油経路および送油管接続口に油漏れ、油のたまり、油のにじみがないか点検します。

●周囲の可燃物・引火物
本体の上や周囲・給排気筒トップまたは排気トップの周辺に可燃物、引火物がないか点検します。

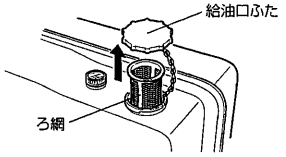
■1か月に1回程度

●外観の清掃
製品外観などの汚れやほこりは、石けん水に浸した布などできれいにふきとります。
シンナー・アルコール・ベンジンなどは使用しないでください。

■1シーズンに2~3回

●ろ網
必ず灯油で洗う

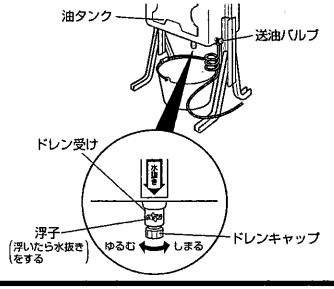
1 給油口ふたをはずします。
2 ろ網を取りはずします。
3 きれいな灯油で洗います。
4 元通り、ろ網と給油口ふたを取り付けます。



[お願い] 水では洗わないでください。

●油タンク
浮子を目安に水抜きする
油タンク内に水が入るとドレン受け内の浮子が浮き上がるので水抜きをします。

1 送油バルブを「止」にします。
2 ドレン受けの下に4ℓ以上の容器を置き、ドレンキャップを2~3回転ゆるめ水抜きをします。
3 水抜きが終わりましたらドレンキャップを元通り締め付けます。
4 浮子が沈んでいるのを確認します。
5 送油バルブを開きます。



■防錆循環液について〈-K2タイプ, -K2-PNタイプの場合〉

システンタンク内の防錆循環液は少しづつ蒸発しますので、1シーズンに1~2回確認してください。(プログラムタイマーリモコンは表示部に「給水」のエラーモードが表示されます。)

●防錆循環液の補給
①本体上面の給水ふたをはずします。
②防錆循環液(VPZ-10GX, VPZ-18GX)をシスターンタンクの満水レベル位置まで補給して、元どおりに給水ふたを取付けます。(水は入れないでください。)
③運転スイッチを押して「入」にします。
●満水レベル位置以上に防錆循環液を入れますと暖房運転の際、本体下部のオーバーフローチューブより、防錆循環液があふれ出ることがあります。
●防錆循環液が不足しますと、空だき防止装置が働き運転を停止します。

●防錆循環液の交換
①防錆循環液は年に1回は濃度チェック、汚れなどの検査をお買上げの販売店へご依頼ください。
②防錆循環液は2年に1回強化剤添加、4年に1回交換が必要ですので、お買上げの販売店に依頼してください。
(所定期間以上過ぎますと、防錆循環液の性能が低下し、凍結、破損、腐食の原因になります。)

定期点検

使用される場所や条件、また使用時間により消耗・劣化する部品があります。
専門技術者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会(☎03-3499-2928)で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など〕のいる店で定期点検を受けてください。
安全にお使いいただくために製品の状態を点検診断するものですから必ず受けてください。

いつ

2シーズン毎
ただし、条件により1シーズン毎の点検が必要となる場合もあります。
湿度の高いところ
ほこりの多いところ(厨房・製綿工場など)
温泉地域などでご使用の場合

どこへ

お買上げになった販売店
またはお近くの三菱電機お客さま相談窓口へ

費用

お買上げの販売店にご相談ください。
定期点検の結果、部品交換や修理等が必要な場合は、処置内容と費用についてお客さまにご相談申しあげます。

内容

定期点検の内容	項目
据付け状態、給排気回りの点検・確認	●製品の据付け・使用状態 ●給排気筒の接続とつまり ●送油経路部の油漏れ ●給排気筒トップのつまり ●防錆循環液の漏れ
安全装置および運転動作の点検・確認	●安全装置の働き ●操作部品や動く部品の働き ●運転動作の点検
環境・使用時間により劣化しやすい部品の点検・交換	●給排気系部品、電気接点部品などの点検 ●点火電極、炎検知器などの点検 (劣化の状態により交換の場合もあります。) ●温水循環ポンプ、温水系ゴムホース、防錆循環液の点検・交換
製品の清掃・整備	●本体内部 ●油タンクの水抜き

地震などの災害が発生したときの点検

☆地震などにより製品に振動、衝撃が加わったときは、運転をする前に必ずボイラの点検を実施してください。
点検内容
●給排気回りのはずれ、もれの確認　●周囲に可燃物がないこと　●防錆循環液のもれ
●送油経路部の油漏れ確認　●機器の損傷
☆点検で異常が見つかったときや、点検したのち使用しているときに排気ガスのにおいがしたり、目がチカチカする(屋内用の場合)ときは使用を中止してお買上げの販売店またはお近くの三菱電機お客さま相談窓口(修理窓口)へ修理依頼してください。

故障・異常の見分けかたと処置方法

■ボイラリモコンにより異常をお知らせします
VPZ-110RCDの場合は表示部、VPZ-110RCSの場合はモニターランプでお知らせします。

表示(ランプ)	原因	処置方法
運転ランプが点灯しない(VPZ-110RCSは電源ランプが点灯しない)	電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグをコンセントに確実に差し込む
	リモコンコードがコネクターから抜けている	お買上げの販売店にご相談ください
	異常過熱防止装置が作動している	お買上げの販売店にご相談ください
	異常着火検知装置が作動している	
循環液点検ランプが点滅する(VPZ-110RCSはモニターランプゆっくり点滅)	空だき防止装置(水位検知電極)が作動した。	防錆循環液を補給する …… 21
E-17	強い地震や衝撃を受けていませんか？	『地震などの災害が発生したとき』の点検項目を確認し電源プラグをコンセントに確実に差し込みなおしてください …… 22
	対震自動消火装置が作動した	
	過熱防止装置が作動した	電源プラグをコンセントに確実に差し込みなおしてください
現在時刻が点滅する	停電がありませんでしたか？	運転スイッチを押しなおす。VPZ-110RCDの取扱説明書に従って各設定をしなおす
	停電安全装置が作動した	
E-01 **(点火安全装置・燃焼制御装置)** (VPZ-110RCSはモニターランプちらちら点滅)	定油面器がセットされていない	定油面器をセットする …… 14
	水フィルター付コック・油タンクバルブが閉まっている	閉められいてるバルブ及びコックを開く …… 15
	油タンクに油がない	給油する …… 13
	油タンクに水が入っている	油タンクの水抜きをする …… 21
	送油経路途中に凹凸配管がある	凹凸配管をなくす
	水フィルター付コックにゴミが詰まって油が流れない	掃除をする
	給排気筒トップの先端がふさがれている	先端のしゃ閉物を取り除き運転スイッチを押しなおす
	油タンク据付け高さが規定外である	お買上げの販売店にご相談ください

故障・異常の見分けかたと処置方法 つづき

表示（ランプ）	原因	処置方法
E－91, 92, 93	リモコンコードに異常がありませんか？	電源プラグをコンセントに確実に差し込みなおしてください
E－06	電源に異常がありませんか？	電源プラグをコンセントに確実に差し込みなおしてください
E－13	異常燃焼している （異常燃焼検知装置の作動）	給排気筒トップ・給気口・排気口が異物でふさがれていないか確認し、異物を取り除いてから運転スイッチを押しなおしてください
E－02 E－03 E－04 E－05 E－08 E－09 （排気筒はずれ検知装置） （屋内用強制給排気形のみ） E－14 E－1A, 1C, 1E	故障です	電源プラグを抜き、お買上げの販売店に表示の内容をご連絡ください
運転ランプが点灯する（点火しない）	本体内のスイッチ設定が間違っていませんか？	お買上げの販売店に連絡してください。
システーンタンクへの防錆循環液の補給回数が多い	給水キャップが確実に閉まっていない	給水キャップを確実に閉めてください。閉めても給水が多い場合は、漏れている恐れがあります。お買上げの販売店にご連絡ください。

以上の方法で点検し、処置してもなおらないときは使用を中止し、お買上げの販売店またはお近くの三菱電機お客さま相談窓口へご連絡ください。

こんな症状のときは

使用を中止しお買上げの販売店に修理依頼、またはお近くの三菱電機お客さま相談窓口にご相談ください。

症状	予測される故障
燃焼確認窓が『すす』で汚れて炎がみえない（フロントパネルをはずして確認）	不完全燃焼をしている
使用中に『ボーン』という大きな音がする	部品が故障している
排気ガスのにおいがしたり、目がチカチカする（屋内用強制給排気形の場合）	排気ガスが室内にもれている
防錆循環液が漏れている。	温水配管接続部が不完全になっていたり、温水配管部材が劣化している

故障かな？ 次の症状は故障ではありません

	症状	原因
点火時	すぐ点火しない	予熱時間約10分が必要です
	ピシッピシッと音がする ゴツンゴツンと音がする	燃焼器の熱伸縮音ですので異常ではありません
	運転スイッチ『入』でなかなか点火しない	温水温度が設定温度より高いためです
消火時・その他	ピシッピシッと音がする ゴツンゴツンと音がする	燃焼器の熱伸縮音ですので異常ではありません
	温水循環ポンプが止まらない	温水温度が冷えたら自動的に止まります
	時刻表示が進む、または遅れる（VPZ-110RCDの場合）	同一コンセントに大容量の製品が使用されています

部品交換のしかた

長期間のご使用で、消耗、劣化しやすい部品があります。
お買上げの販売店、またはお近くの三菱電機お客さま相談窓口にお問い合わせください。
専門技術者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など〕のいる店で修理いたします。不完全な修理は危険です。

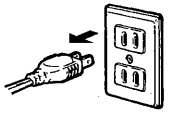
■消耗、劣化しやすい部品

- ●各種パッキン、排気筒接続用Oリング[JIS B2401 4種D　呼びP49…VKH-110KTタイプ、VKH-80KTタイプ、呼びP60…VKH-150KTタイプ]
- ●防錆循環液
- ●点火電極、炎検知器(フレームロッド)など
- ●給排気系部品
- ●バーナー
- ●電磁ポンプ
- ●燃焼系部品
- ●熱交換器
- ●定油面器内オイルフィルタ
- ●水位検知電極

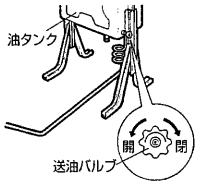
保管(長期間使用しない場合)

■長期間使用しないとき(シーズン終了時)は、次の要領でお手入れしてください。
製品は据付けたままにしてください。

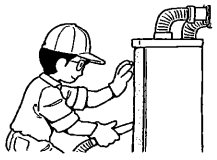
1 電源プラグをコンセントから抜いてください。



2 油タンクの送油バルブを「閉」にしてください。



3 製品外観の掃除をしてください。



[お願い] 製品内部の清掃は必ずお買上げの販売店に依頼してください。

据付け

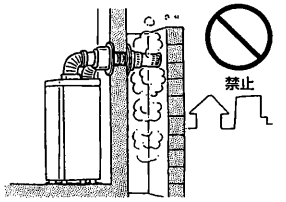
据付場所の選定

製品の据付けは販売店・工事店が火災予防条例などに基づき実施していますが据付工事完了後、販売店・工事店とともにお客さまご自身でもご確認ください。

⚠警告
- ● 積雪の多い地方では、給排気筒トップが雪でふさがれないように注意してください。(屋内用強制給排気形の場合)

[お願い]
- ● 厳寒地域では給排気筒トップに「つらら」がつくことがありますので注意してください。(屋内用強制給排気形の場合)
- ● 本体が雪にうもれたり、浸水するような場所に据付けないように注意してください。(屋外用開放形の場合)

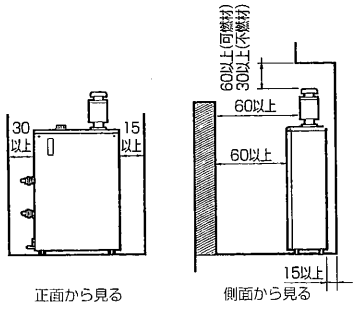
[お願い]
- ● 排気ガスがよどまないか確認してください。
  排気ガスを再度吸い込んで不完全燃焼を起こすことがあります。
- ● タコ足配線で使わないでください。
  電源コンセント(単相100V)は専用でお使いください。



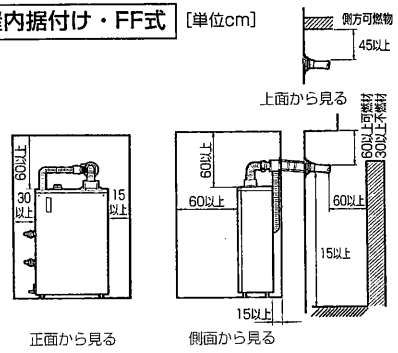
製品と周囲との距離

製品を据付ける場合は、石油燃焼機器の設置基準〔(財)日本石油燃焼機器保守協会〕で決められている下図の可燃物との距離を必ずとってください。
アフターサービス、定期点検、更に給排気回りの点検を行うためにも必要です。

屋外据付け [単位cm]



屋内据付け・FF式 [単位cm]



騒音防止について

設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。
騒音公害とならないよう十分配慮して設置場所を選択してください。

据付け

据付工事後の確認

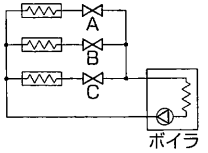
据付工事終了後に販売店・工事店とともにお客さまご自身でも下表に基づき点検してください。
また、据付工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みになり、記載どおり据付けられているか確認してください。

点検箇所		点検項目	チェック結果
製品		製品の回りは必要な空間がありますか。	
		据付場所は騒音公害とならないよう十分配慮されていますか。	
		床面の不安定な場所に据付けてありませんか。また製品が固定されていますか。	
		電源コードは排気筒に触れていませんか。また電源コンセント(単相:100V)は専用ですか。	
		製品送油管から油漏れはありませんか。	
		温水配管接続部から防錆循環液が漏れていませんか。	
油タンク		油タンクや送油管から油漏れはありませんか。	
		油タンクの据付けは基準寸法が守られていますか。	
給排気部品		給排気筒トップ(排気トップ)の周囲は基準寸法が守られていますか。	
		排気筒に給気ホースや燃えやすいものが接触していませんか。	
		給排気筒のはずれ・ゆるみがありませんか。	
		排気ガスが屋外へ排気されるようになっていますか。	
		給排気筒トップの取付けが屋外に向って下り勾配になっていますか。	
		給排気筒トップ(排気トップ)の周囲に障害物(樹木・愛がん動物・雪のふきだまり)はありませんか。	
		給排気筒トップ(排気トップ)の周囲に危険物(灯油・ガソリン・プロパンガス)はありませんか。	
		給排気筒トップの給気口・排気口が異物でふさがっていませんか。	
		集合煙突に給排気筒を取付けた工事はされていませんか。	
	延長工事	床下・天井裏へ給排気してありませんか。	
		壁埋込みの配管工事はしてありませんか。	
		排気筒の長さは給気ホースに比べ極端に長くなっていませんか。	
		給気ホース・排気筒の長さは3m以内で曲がり数3箇所以内ですか。	
		排気筒の途中に水がたまるようなへこみ部はありませんか。	
		排気筒の延長立上げ寸法は1.8m以下になっていますか。	
検知リード		排気筒はずれ検知リードは、給気ホースにそって固定され、給排気筒トップに接続されていますか。	
接地工事		第3種接地工事(接地抵抗100Ω以下)がしてありますか。	
防錆循環液		次回点検予定日は記入されていますか。	
		三菱純正防錆循環液を必ず使用していますか。〔形名:VPZ-10GX, VPZ-18GX〕	
		配管は銅配管になっていますか。	
		自動給水していませんか。(自動給水は禁止です。)	
		開放形の場合、放熱器高さは6m以下になっていますか。	

上記が守られていないと火災・不完全燃焼などをおこすおそれがありますので、販売店・工事店に正しい処置をご依頼ください。

試運転

試運転は、販売店・工事店と立合いで行ってください。
運転手順、異常時の処置方法について販売店・工事店より説明を受けてください。

	チェック項目	方法	
温水システムの確認	1. 防錆循環液の入れかたとエアー抜き	 1. 圧損・高低差の大きい回路から順に1回路ごとに行ってください。 ① A弁…開く / B, C弁…閉じる ② B弁…開く / A, C弁…閉じる ③ C弁…開く / A, B弁…閉じる 2. 給水キャップをはずし、防錆循環液を入れながら循環ポンプを運転し、ゴボゴボと空気が戻ってこなくなるまで運転します。 ① ボイラの前パネルをはずします。(本体正面上側のネジ2本をはずします。) ② 電源プラグを抜いて回路基板上の「SW1」(運転モード切換スイッチ)を「P」に切換えます。 ③ 電源プラグをコンセントに差し込み運転します。 ④ 終了後は、必ず電源プラグを抜いて、「R」に戻し再度電源プラグを差し込み、ボイラリモコン運転モードに戻します。	
	2. 放熱器とボイラの高低差	● ポンプ内蔵タイプ及びシステム部材の循環ポンプを使用の場合は6mまで	
ボイラの確認		1. 油タンクに給油します。 2. 定油面器のリセットレバーを下へ1回下げて、元の位置に戻ることを確認します。 3. 油タンクと給油アタッチメントの送油バルブを「開」にします。 4. 油タンクや送油管から油漏れがないか確認します。 5. 電源プラグをコンセント(単相100V)に確実に差し込みます。	

■運転開始と停止の手順

〔温調リモコンの場合〕

●運転スイッチを押して「入」にします。
電源ランプが点灯し、約10分後に燃焼を開始します。その状態で約15分間運転して異常表示が出ないか確認してください。

●運転スイッチを押して「切」にします。
電源ランプが消灯し、運転が停止します。

〔プログラムタイマーリモコンの場合〕

●「運転」スイッチを押す
運転ランプが点灯し、約10分後に燃焼を開始します。その状態で約15分間運転して異常表示が出ないか確認してください。

●「切」スイッチを押す
運転ランプが消灯し、運転が停止します。

お知らせ

●初期運転時や燃料切れの際、ボッボッと音をたてて燃焼することがありますが、故障ではありません。

●においが出ることがありますが、燃焼器に付着した油やほこりが焼けるためで異常ではありません。

保証とアフターサービス

修理・取扱い・お手入れなどのご相談は
まず、お買上げの販売店へお申し付けください。

転居などでお困りの場合は右一覧表で
●修理のご相談は　「修理相談窓口」へ
●その他のお問い合わせは　「一般相談窓口」へ

保証書(別添付)について

■保証書は、必ず「お買上げ日・販売名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。
■内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間…お買上げ日から1年間。

補修用性能部品の最低保有期間は

■油だき温水ボイラの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後9年間です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。
■性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

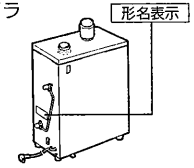
「故障かな？」と思ったら(23～25ページ)にしたがってお調べください。なお、不具合があるときは、運転スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は
修理に際しては、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

■保証期間がすぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
修理料金は、技術料＋部品代(出張料)などで構成されています。

■ご連絡いただきたい内容

1. 品名　油だき温水ボイラ
2. 形名
3. お買上げ年・月・日
4. 故障内容
　できるだけ具体的に
5. 住所・名前・電話番号
　付近の目印なども



三菱電機お客さま相談窓口一覧表

北海道地区

修理相談窓口

旭川 (0166)26-5580
旭川市曙1条8-1
滝川 (0125)23-0117
滝川市本町1-7-4
北見 (0157)25-7045
北見市柏陽町577-60
釧路 (0154)24-1355
釧路市喜多町2-25
帯広 (0155)35-3111
帯広市西13条北4-1-13
室蘭 (0143)45-5781
室蘭市東町1-17-19
苫小牧 (0144)55-1114
苫小牧市明野新町2-1-18
札幌 (011)221-8951
札幌市中央区北2条東13-25
小樽 (0134)33-3380
小樽市緑2-28-22
函館 (0138)49-0345
函館市西桔梗町589-57

一般相談窓口

北海道本部
(011)893-1313
札幌市厚別区大谷地東2-1-11

東北地区

修理相談窓口

青森 (0177)73-8381
青森市大字野木字野尻37-184
弘前 (0172)32-6535
弘前市大字青山4-20-3
八戸 (0178)28-8544
八戸市大字長苗代字下亀子谷地6-8
むつ (0175)22-3277
むつ市横迎町2-11-7
盛岡 (019)637-7454
盛岡市羽場13地割30-11
水沢 (0197)25-4511
水沢市卸町2-3
釜石 (0193)23-4611
釜石市定内町3-10-1
仙台 (022)238-1773
仙台市若林区大和町2-18-23
気仙沼 (0226)23-8485
気仙沼市田中前2-9-2
石巻 (0225)95-9111
石巻市門脇字四番谷地16-268
古川 (0229)24-3595
古川市米袋字大窪25-1
秋田 (0188)65-4471
秋田市八橋三和町19-36
横手 (0182)32-1785
横手市安田字ブンナ沢80-110
大館 (0186)42-2781
大館市餅田2-5-44
山形 (0236)24-0018
山形市大の目2-1-21
酒田 (0234)22-8533
酒田市北新橋2-14-3
鶴岡 (0235)24-6161
鶴岡市上畑町5-4
米沢 (0238)37-5554
米沢市中田町4776-1
福島 (0245)34-7123
福島市御山字田中58
郡山 (0249)59-6543
郡山市喜久田町卸1-76-1
会津 (0242)27-4426
会津若松市天寧寺町3-7
原町 (0244)24-2842
原町市桜井町1-173
いわき (0246)26-1822
いわき市内郷御台境町鶴巻75-8

一般相談窓口

東北本部
(022)231-8282
仙台市宮城野区日の出町2-2-33

北関東・新潟地区

修理相談窓口

宇都宮 (028)662-0307
宇都宮市平出町3752-4
前橋 (027)265-0511
前橋市後閑町92-1
新潟 (025)274-9165
新潟市竹尾卸新町752-9
長岡 (0258)23-3323
長岡市南陽1-1118-1
上越 (0255)24-1160
上越市大字藤巻字上川原896-7
埼玉県全域
埼玉修理受付センター
(048)651-3223
大宮市大成町4-298

一般相談窓口

首都圏本部
(03)3414-9655
東京都世田谷区池尻3-10-3

東関東地区

修理相談窓口

千葉県全域及び茨城県全域
東関東修理受付センター
(0471)67-7731
柏市北柏3-14-1

一般相談窓口

首都圏本部
(03)3414-9655
東京都世田谷区池尻3-10-3

仕様

形式の呼び		VKH-80KT-K2	VKH-110KT-K2	VKH-150KT-K2	VKH-80KT-M2	VKH-110KT-M2	VKH-150KT-M2
		—	VKH-110KT-K2-PN	VKH-150KT-K2-PN	—	VKH-110KT-M2-PN	VKH-150KT-M2-PN
区分		K(開放式)			M(密閉式)		
種類		気化式・暖房用・1缶1水路式・タンク式 屋内用：密閉式強制給排気形、屋外用：開放形					
点火方式		高圧放電点火・自動点火					
使用燃料		灯油(JIS1号灯油)					
燃料消費量(ℓ/h)	最大	1.15(19.2cc/min)	1.57(26.2cc/min)	2.14(35.7cc/min)	1.15(19.2cc/min)	1.57(26.2cc/min)	2.14(35.7cc/min)
	最小	0.70(11.6cc/min)	1.08(18.0cc/min)	1.40(23.3cc/min)	0.70(11.6cc/min)	1.08(18.0cc/min)	1.40(23.3cc/min)
暖房効率(%)	強	85					
	弱	85					
暖房出力(kW)	強	9.30(8,000kcal/h)	12.80(11,000kcal/h)	17.44(15,000kcal/h)	9.30(8,000kcal/h)	12.80(11,000kcal/h)	17.44(15,000kcal/h)
	弱	5.58(4,800kcal/h)	8.72(7,500kcal/h)	11.63(10,000kcal/h)	5.58(4,800kcal/h)	8.72(7,500kcal/h)	11.63(10,000kcal/h)
熱交換器容量(ℓ)		0.5					
本体保有水量(ℓ)		6.6			1.5		
最高使用圧力(kPa)		大気開放			95(1.0kgf/cm²)以下		
伝熱面積(m²)		0.55					
外形寸法(mm)		高さ：790、幅：490、奥行：260					
質量(本体のみ)(kg)		34					
電源電圧及び周波数		100V 50/60Hz					
定格消費電力(50/60Hz)(W)	最大	点火時 720/730	点火時 730/744	点火時 740/750	点火時 720/730	点火時 730/744	点火時 740/750
	燃焼時	145/170	354/369	395/410	145/170	354/369	395/410
排気筒径(mm)		φ50		φ60	φ50		φ60
給排気筒呼び径		D49		D59	D49		D59
給排気筒壁貫通部孔径(mm)		φ75		φ100	φ75		φ100
排気温度(℃)		260以下					
騒音レベル(dB) 密閉式強制給排気形	強	45	48	51	45	48	51
	弱	42	44	47	42	44	47
騒音レベル(dB) 開放形	強	42	45	48	42	45	48
	弱	38	41	44	38	41	44
電流ヒューズ(A)		メイン回路15・メイントランス部3・燃焼用送風機部3					
温度ヒューズ(℃)		192					
安全装置		対震自動消火装置・過熱防止装置・燃焼制御装置 点火安全装置・停電安全装置・空だき防止装置					
その他の装置		異常着火検知装置・異常過熱防止装置・異常燃焼検知装置 排気筒はずれ検知装置(屋内用密閉式強制給排気形のみ)					

※ -PNタイプの定格消費電力は温水循環ポンプ消費電力が95/110Wのときを示す。

愛情点検

★長年ご使用の油だき温水ボイラの点検を！

●油だき温水ボイラの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後9年です。

ご使用の際このような症状はありませんか。

●排気パイプがはずれている。
●臭いがしたり、目がチカチカする。
●本体後部の壁がススで汚れている。
●燃焼確認窓がススで汚れて炎が見えない。
●点火しない。使用中炎がたびたび消える。
●運転中に「ボーン」という大きな音がする。
●その他の異常・故障がある。

使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグを抜いてから必ずお買上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

形名	
お買上げ年月日	
お買上げ店名 (住所) (電話番号)	

三菱電機株式会社
中津川製作所　〒508 岐阜県中津川市駒場町1番3号

S97B